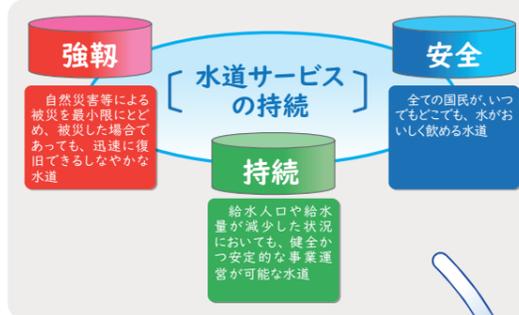




1. 経緯

- (1) 平成16年6月 厚生労働省は「水道ビジョン」を策定
- (2) 平成24年3月 「瀬戸市水道ビジョン」を策定
- (3) 平成25年3月 厚生労働省は「新水道ビジョン」を策定
- (4) 令和5年7月 「瀬戸市新水道ビジョン」を策定

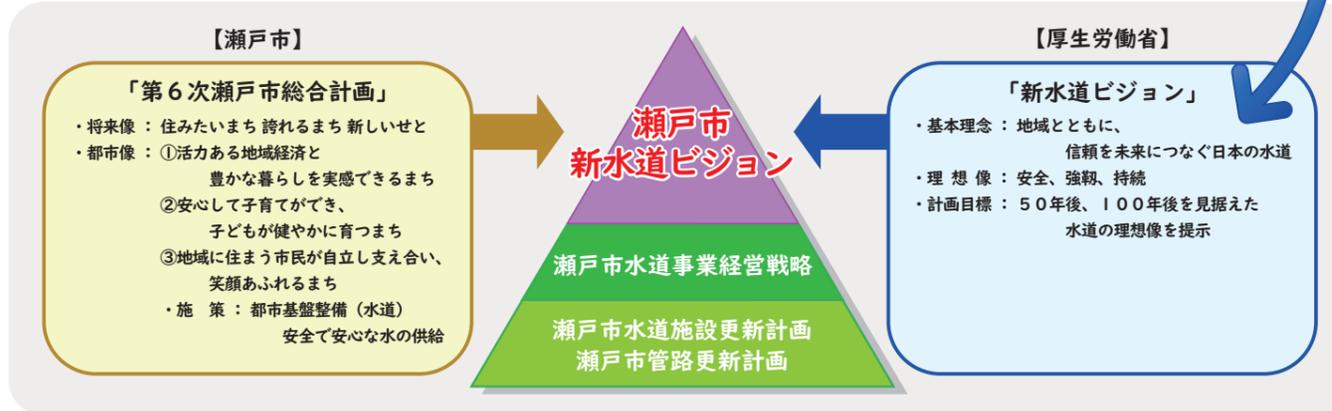


2. 目的

将来にわたって安定的に水道事業を持続していくため、「瀬戸市水道ビジョン」を見直し、新たに「瀬戸市新水道ビジョン」を策定するものです。

3. 瀬戸市新水道ビジョンの位置付け

「瀬戸市新水道ビジョン」は、厚生労働省が策定した「新水道ビジョン」や本市の上位計画である「第6次瀬戸市総合計画」との整合を図ります。



4. 水道事業の主な課題

(1) 人口減少に伴う給水収益の減少

人口の減少

- ・平成21年度(ピーク) 133,656人
- ・令和3年度(実績) 128,470人
- ・令和14年度(予測) 123,500人

給水収益も減少

- ・給水収益は人口の減少に比例し減少
- ・このままでは健全な経営が困難

(2) 水道施設の老朽化対策と耐震性不足に伴う更新費用等の増加

水道施設の老朽化の進行・耐震性の不足

- ・高度成長期(昭和48年頃)までに施工した水道施設が更新時期を迎える
- ・南海トラフ地震が発生した場合 市内では震度5強~6弱が想定されている
- ・耐震性が不足している水道施設がある

更新費用等の増加

- ・老朽化に対する更新費用の増加
- ・耐震性不足に対する対策費用の増加

(3) 熟練した職員減少に伴う人材不足

職員の減少と技術の継承

- ・熟練職員の高齢化や退職
- ・技能・技術・経営能力を受け継ぐ時間が十分にとれない

事業運営の持続

- ・水道サービスを持続するための対応力・組織力の低下
- ・水道施設の適切な維持管理・更新が困難

5. 計画期間

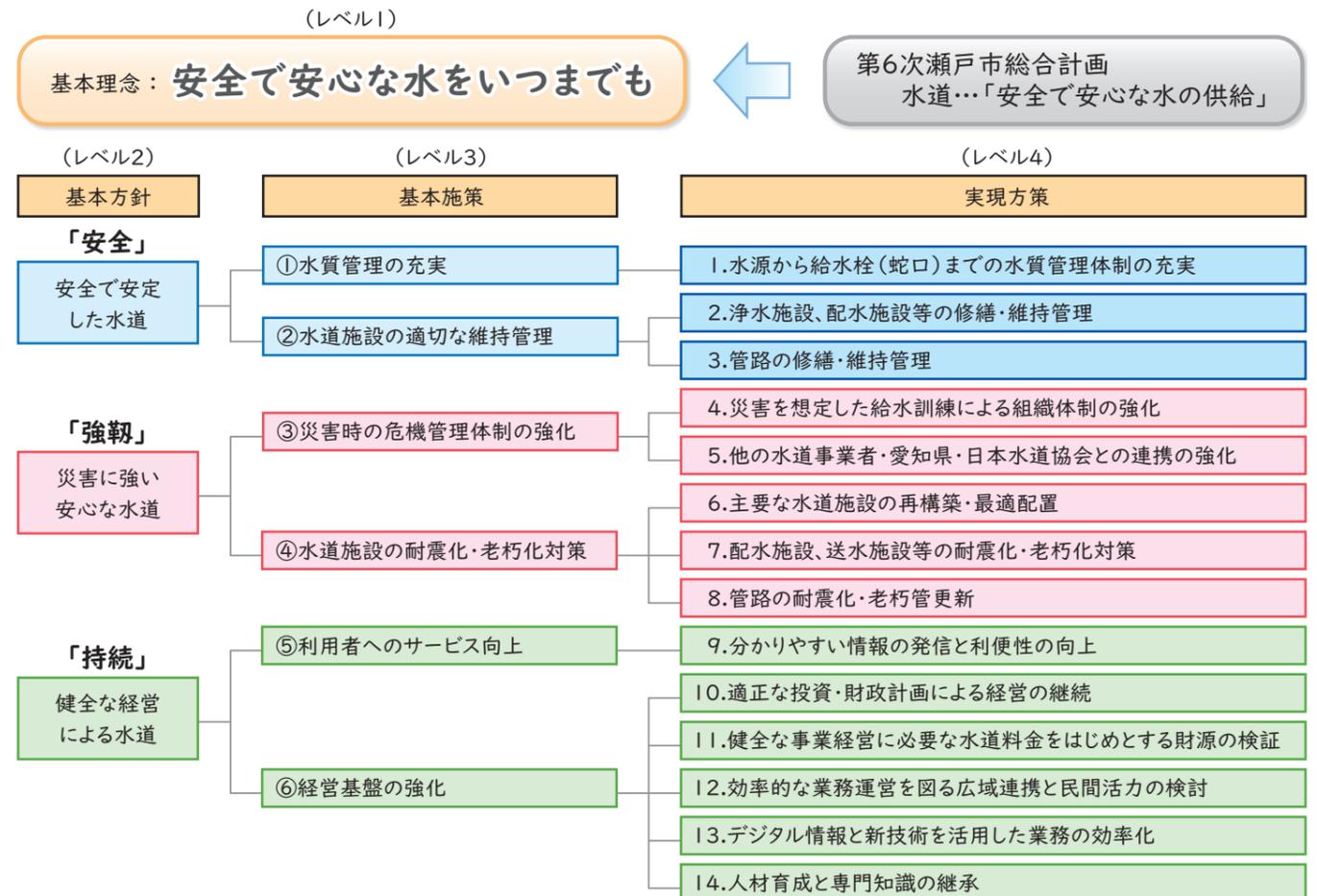
・計画期間は、令和5(2023)年度から10年間とします。

計画期間: 令和5年度(2023年度)~令和14年度(2032年度)

種別	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
国(厚生労働省)	水道ビジョン																						
	新水道ビジョン																						
本市	総合計画																						
	水道事業																						

6. 瀬戸市新水道ビジョンの体系図

体系図について、基本理念及び基本方針は、50年先の将来を見据え、設定します。また、基本施策及び実現方策は、今後の10年間の方向性や具体的な実現方策を定めます。



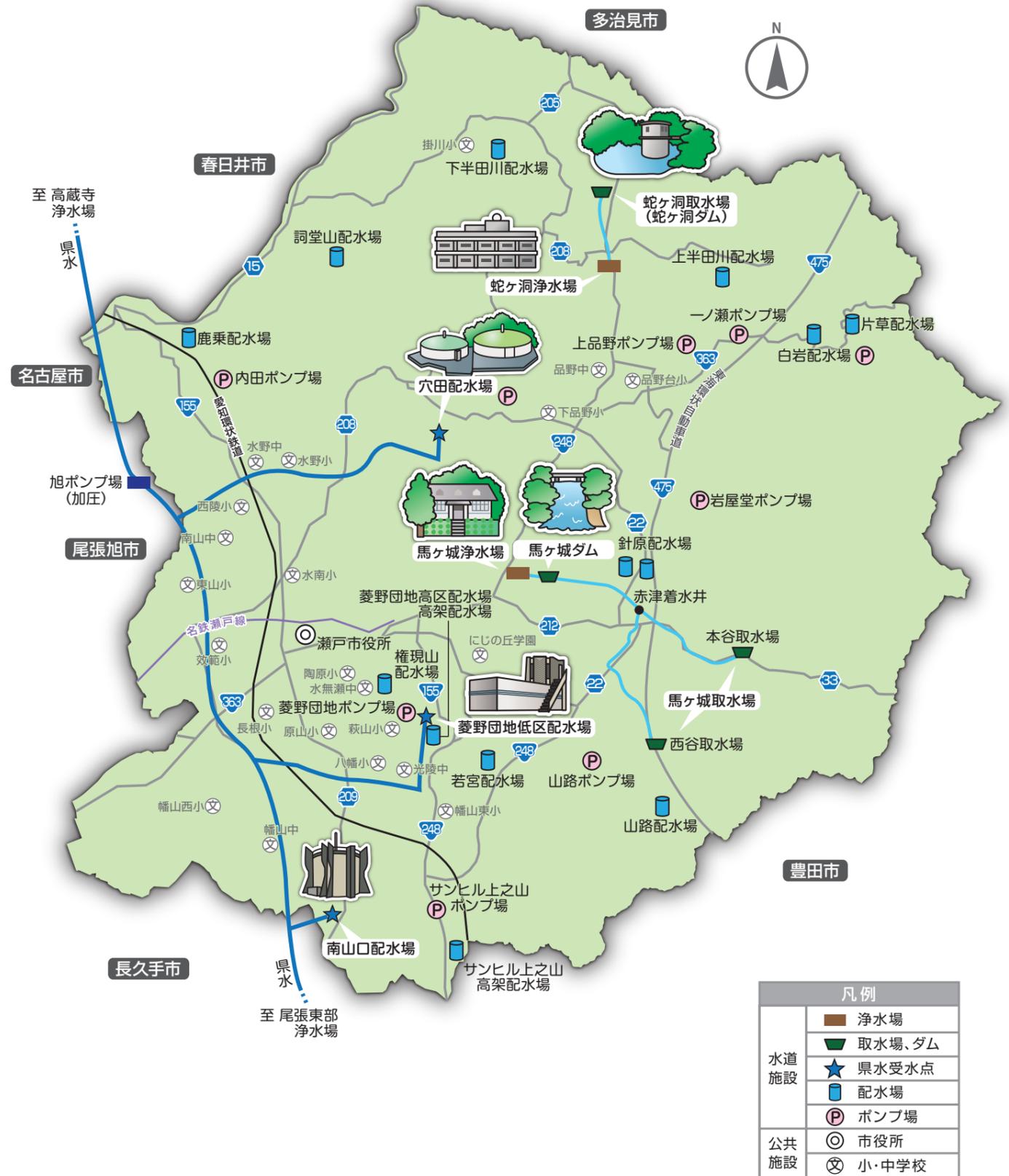
7. 水道施設

水源	系統名	区分	名称	竣工年	構造形式	池容量 (m ³)	耐震性 ^{※2}	
自己水	蛇ヶ洞系	貯水施設	蛇ヶ洞取水場	ダム(県管理)	S45	RC造	—	不明
				取水施設	取水塔	S49	RC造	—
		浄水施設	蛇ヶ洞浄水場	電気室	S49	RC造	—	OK
				沈澱池	S49	RC造	—	NG
				ろ過池	S49	RC造	—	NG
				管理棟	S49	RC造	—	OK
				配水池	S49	RC造	4,435	OK
		配水施設	針原配水場	1号配水池	S50	PC造	1,000	OK
				2号配水池	H5	PC造	2,500	OK
			片草配水場	電気室	H5	RC造	—	OK
				配水池	H12	SUS造	98	OK
			上半田川配水場	1号配水池	S43	RC造	50	OK
				2号配水池	S46	RC造	70	NG(レベル1 ^{※3} OK)
			白岩配水場 ^{※1}	ポンプ室	H12	SUS造	—	OK
				配水池	H12	SUS造	98	OK
			若宮配水場	配水池	S51	PC造	1,000	OK
				電気室	S51	CB造	—	CB造のためNG
		山路配水場	配水池	H17	SUS造	27	OK	
			配水池	H17	SUS造	27	OK	
		送水施設(加圧)	一ノ瀬ポンプ場	ポンプ室	H12	SUS造	—	OK
受水池	H12			SUS造	12	OK		
上品野ポンプ場	ポンプ室		H9	RC造	—	OK		
	受水池		H9	RC造	25	NG(レベル1 ^{※3} OK)		
岩屋堂ポンプ場	ポンプ室		S51	木造	—	木造のためNG		
	受水池		S51	FRP造	6	NG		
山路ポンプ場	ポンプ室	H16	SUS造	—	OK			
	受水池	H16	SUS造	15	OK			
馬ヶ城系	取水施設	馬ヶ城取水場	本谷取水場	S8	石積み	—	石積みのためNG	
			西谷取水場	S8	石積み	—	石積みのためNG	
	導水施設	馬ヶ城浄水場	赤津着水井	S8	RC造	—	不明	
			ダム	S8	RC造	—	不明(レベル1 ^{※3} OK)	
	浄水施設	馬ヶ城浄水場	緩速ろ過池	S8	RC造	—	OK	
管理棟			S8	木造	—	木造のためNG		
県水	穴田系	配水施設	穴田配水場 ^{※1}	1号配水池	R1	PC造	7,000	OK
				2号配水池	H1	PC造	5,000	OK
				ポンプ室	H1	RC造	—	OK
				自家発電機室	H18	RC造	—	OK
				配水池	S8	RC造	2,200	NG
		送水施設(加圧)	内田ポンプ場	配水池	S47	RC造	32	OK
				配水池	S61	PC造	210	OK
				配水池	H14	SUS造	50	OK
				ポンプ室	H30	RC造	—	OK
				受水池	H30	SUS造	24	OK
	菱野系	配水施設	菱野団地低区配水場	1・2号配水池	S46	RC造	2,400	NG(レベル1 ^{※3} OK)
				3号配水池	H23	RC造	800	OK
			菱野団地高架配水場	配水池	H18	SUS造	200	OK
				配水池	S44	PC造	1,000	OK
			権現山配水場	配水池	S45	PC造	1,000	OK
	ポンプ室	S45		RC造	—	OK		
	送水施設(加圧)	菱野団地ポンプ場	受水池	S45	RC造	1,000	OK	
			受水池	S45	RC造	1,000	OK	
	南山口系	配水施設	南山口配水場	配水池	S56	PC造	3,000	NG
				電気室	S56	CB造	—	CB造のためNG
送水施設(加圧)		サンヒル上之山高架配水場	配水池	H2	PC造	360	NG	
			ポンプ室	H2	RC造	—	OK	
送水施設(加圧)	サンヒル上之山ポンプ場	ポンプ室	H2	RC造	—	OK		
		受水池	H2	RC造	570	NG(レベル1 ^{※3} OK)		

※1:ポンプ場を併設する施設。

※2:耐震性は、レベル2地震動に対する耐震性を示す。

※3:かっこ書きは、レベル1地震動に対する耐震性を示す。



凡例	
水道施設	浄水場
	取水場、ダム
	県水受水点
	配水場
	ポンプ場
公共施設	市役所
	小・中学校